

UDC 547.633.6'133 : 54-41

K 8830

JIS

ウ ラ ニ ン (試薬)

Ⓢ JIS K 8830-1995

平成 7 年 3 月 1 日 改正

日本工業標準調査会 審議

(日本規格協会 発行)

主務大臣：通商産業大臣 制定：昭和 28.5.6 改正：平成 7.3.1

官報公示：平成 7.3.1

原案作成協力者：日本試薬連合会

審議部会：日本工業標準調査会 化学分析部会（部会長 二瓶 好正）

この規格についての意見又は質問は、工業技術院標準部繊維化学規格課（〒100 東京都千代田区霞が関 1 丁目 3-1）へ連絡してください。

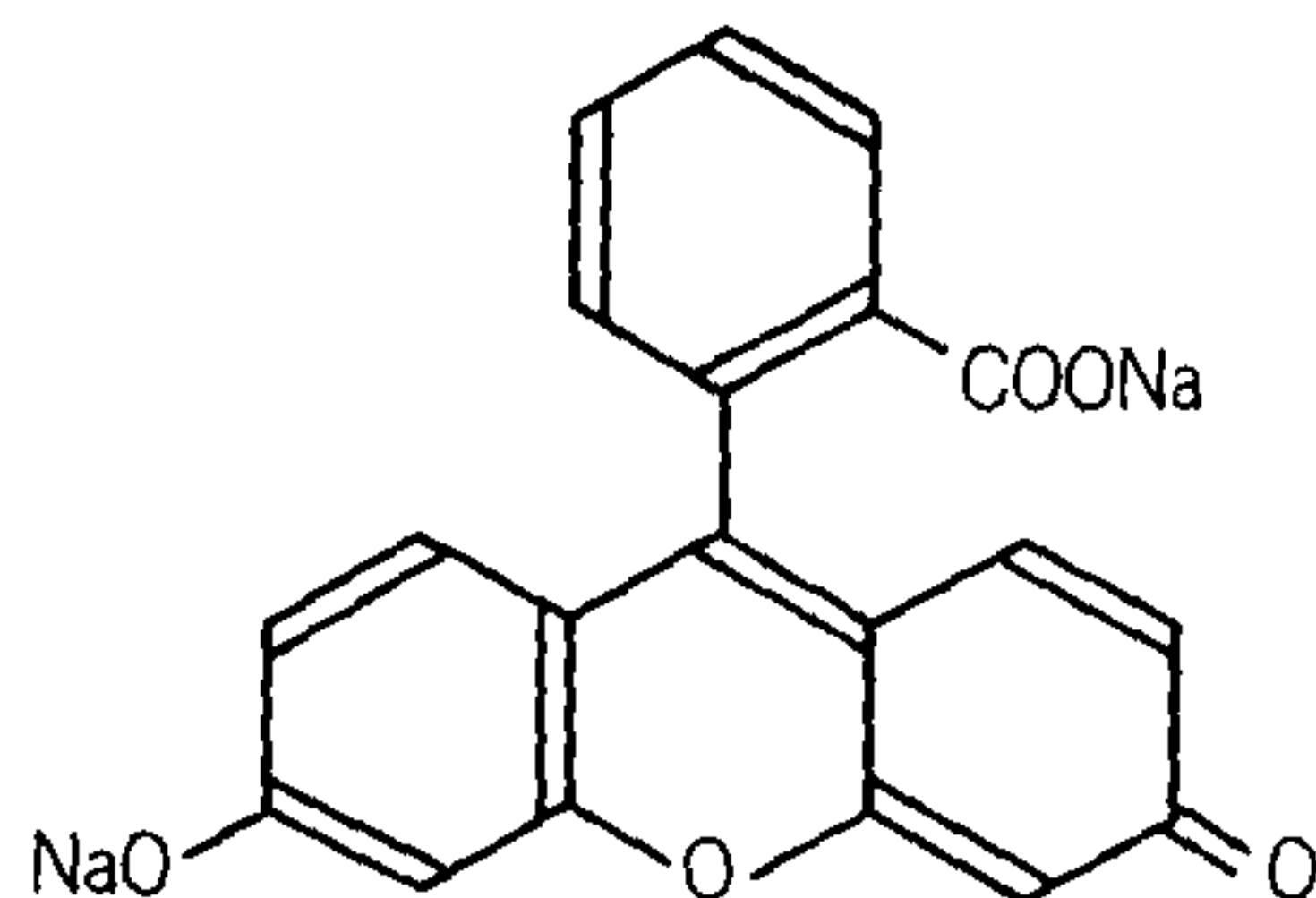
なお、日本工業規格は、工業標準化法第 15 条の規定によって、少なくとも 5 年を経過する日までに日本工業標準調査会の審議に付され、速やかに、確認、改正又は廃止されます。



ウ ラ ニ ン (試薬)

K 8830-1995

Uranine


 $C_{20}H_{10}Na_2O_5$ $FW : 376.28$

1. 適用範囲 この規格は、試薬として用いるウラニン⁽¹⁾について規定する。

注⁽¹⁾ 化学名：フルオレセインナトリウム

備考 この規格の引用規格を、次に示す。

JIS K 0067 化学製品の減量及び残分試験方法

JIS K 0117 赤外分光分析方法通則

JIS K 8001 試薬試験方法通則

2. 共通事項 この規格に共通する事項は、JIS K 8001による。

3. 種類 特級

4. 性質 ウラニンは、次の性質を示す。

(1) 性状 ウラニンは、金属光沢のある緑の塊又は赤褐色の粉末で、吸湿性があり、水に溶けやすく、エタノールにやや溶けにくく、ジエチルエーテルにほとんど溶けない。

(2) 定性方法

(a) 試料0.1 gに水20 mlを加えて溶かす。この液を用いてJIS K 8001の5.29(炎色試験)(1)(アルカリ金属及びアルカリ土類金属試験法)によると、黄色が現れる。

(b) 試料の赤外吸収スペクトルをJIS K 0117によって測定すると、波数 1640 cm^{-1} 、 1580 cm^{-1} 、 1510 cm^{-1} 、 1460 cm^{-1} 、 1330 cm^{-1} 、 1170 cm^{-1} 、 1110 cm^{-1} 及び 840 cm^{-1} 付近に主な吸収を認める。この場合、試料調製はJIS K 0117の6.2(1)(錠剤法)による。赤外吸収スペクトルの一例を図1に示す。